



特集1 心を伝える要約筆記

問▶障害福祉課(☎71)2259

みんなで会話をするときは、パソコンなどを使い、会話の内容をスクリーンに表示します

間瀬末…私は、町内会の福祉委員をしています。会合などでは、「なしばた」の仲間が活動を支援してくれます。要約筆記のおかげで、活動の幅が広がりました。今は、中途失聴者の存在を知つてもらえたると、勇気を出してさまざまな集まりやサークルに参加しています。

田所…要約筆記は、誰にでもできます。特別なことは必要ありません。聴覚障害者が困っていたら、自然と周りの人が書いて助けてあげる。そんな社会になるといいですね。

あなたもできる！筆談のポイント

① 短い言葉で

話し言葉をそのまま書こうとすると、とても時間がかかります。話の要点が伝わるなら、単語だけでも大丈夫です。

②読みやすい文字で

⑤読みやすい文字で
文字は大きく、丁寧に
書きましょう。

③携帯電話も使って

紙や筆記用具がないときは、携帯電話を使いましょう。メール作成画面などに文字を入力し、相手に見てもらいましょう。

A person with long brown hair is seen from the side, holding a small white rectangular sign. The sign has handwritten text that appears to read "MUSIC" on the top line, "BY GUY" on the second line, and "1973" on the third line. The background is slightly blurred, showing what might be a natural setting like a forest or a park.

- **とき** 毎月第2・3土午後1時30分
- **ところ** 市社会福祉会館
- **年会費** 1500円
- **問い合わせ** 市社会福祉協議会(☎)(7)2941
- 要約筆記者の派遣**

本市では、要約筆記者・奉公員として登録のある人を派遣する制度があります。中途失聴者

演会などで要約筆記が必要な場合は、ぜひご利用ください。派遣には事前申請が必要ですので、障害福祉課へ問い合わせてください。

話に参加することができずに
疎外感を感じ、泣いてばかり
いました。外出をした時も、
話しかけられるのが怖くて、
人を避けていました。

とき、みんなが筆記をしてくれて、会話ができたことに感動したのを覚えています。耳が聞こえなくなつて、気持ちも沈んでいましたが、これで前を向いて頑張ると思いました。

A group photograph of nine people, likely a family, posed in a room. In the front row, four people are seated: a woman on the far left in a dark patterned top, a man in the center in a brown zip-up sweater, a woman on the right in a dark patterned top, and a young woman on the far right in a dark grey top. In the back row, five people are standing: a woman on the far left in a black long-sleeved top, a woman in the center-left wearing a white face mask and a dark patterned top, an elderly woman in the center in a plaid jacket, a woman on the right in a dark patterned top, and a man on the far right in a grey cardigan over a dark shirt. The room has a warm, indoor lighting and a simple background.

後列左から杉浦小夜子さん、近藤弘子さん、井川啓子さん、高木康子さん、杉浦三二さん、小泉和史さん
前列左から田所登代子さん、間瀬記坂さん、間瀬末子さん、小向秋子さん

代表の田所さん、難聴者・中途失聴者の間瀬末子さん、近藤さん、小向さんにお話を伺いました。

田所：聴覚障害者には、幼少期から聴覚に障害のあるろう者と、人生の途中で聴覚を失つた、中途失聴者がいます。中途失聴者は、耳が不自由になるまでは、普通の生活をしてきた人ばかり。手話がわからなくなても、文字を書いて伝えることで、会話をすることができます。

近藤：私たちは、書いてもらわなければ何も分かりません。

詰しかけられた時 筆談して
欲しいと伝えると、「書くなら
いいや」と言われたことがあります。気軽にコミュニケー
ションが取れないので、とて
も大変です。

A group of four people are gathered around a table, looking at papers and discussing. From left to right: a woman with dark hair, a woman with short dark hair, an older man with a shaved head, and an older man with glasses and a suit. They are all looking down at the papers on the table.

要約筆記サークル なしばた

要約筆記ボランティアと中途失聴者の交流サークル。依頼に応じて、講演会や会議などで要約筆記をしている